

ふれあいの橋の会

REPORT さかい

境漁港と境水道大橋



訪問日 2025年10月16日(木) 10:00 ~ 11:40

訪問先 グループホームひので 境港市日ノ出町78-2

出席者 【委員】川口昭一、中本勝、遠藤博江

【さかいエリア】藤原晃(グループホームひので 管理者)

【法人本部】荒井祐二(監事)



グループホームひので

施設の現況・特色

荒井監事：本日は、境漁港や水木しげるロードの近くに位置する「グループホームひので」を見学していただきます。店舗や住居が連坦した賑わいのある街の一角に開設しています。委員の皆さんには、配布しました評価表を基に忌憚のない提言をお願いします。藤原管理者から施設の現況や特色をお願いします。



藤原管理者：グループホームひのでは、境港市に住所があり、認知症状のある要支援2～要介護5までの人が対象。2ユニットで1階2階に9名ずつ入居。内訳は、男性3名、女性15名。室内は、木のぬくもりを感じていただこうと、木材をふんだんに使用した和風モダンな建物となっています。敷地いっぱいに建設されていますが、駐車場などの除草作業が必要で、職員が分担し実施しています。入居者の食事については、朝食と昼食は職員が調理、夕食は新さかい幸朋苑の厨房の協力を得ています。コロナ禍で地域交流やボランティアの受け入れが減少していますが、復活させたいと考えています。今週土曜日に開催されます境公民館まつりでは、入居者の皆さん的作品を展示します。

荒井監事：コロナ禍前は、聖心幼稚園や自治会との交流が活発に行われていましたので、ぜひ復活させてください。

藤原管理者：コロナが発生して以来、感染症対策の徹底で様々な面で制限をしてきましたが、実施に向けて取り組んでまいりたいと思います。

中本委員：私は、誠道地区の自治会長をしていますが、コロナを理由に運動会などの地域行事を半日で終了させてきました。交流することの意義を再認識し、本来の姿に戻すべきだと考えています。

遠藤委員：準備をする役員が高齢化していることも、原因かもしれません。マンネリ化を防ぐために新陳代謝も必要ですね。

川口委員：何人の職員で運営していますか。

藤原管理者：15名の職員配置ですが、病気療養等で2名が休職中です。職員の補充が望まれますが、一般的に人材不足にありますので、職員間で協力しながら運営しています。

荒井監事：水木しげるロードまで約100mの位置にあり、入居者の皆さんのが散歩コースになっていると思いますが、現状はどうですか。

藤原管理者：入居者の皆さんにはできる限り、外出機会を増やしたいと考えています。水木しげるロードの喫茶店でソフトクリームを食べたり、大港神社にお参りに行ってます。



水木しげるロード

■施設内外の点検・提言

荒井監事：施設内を見学していただきました。配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④その他）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

遠藤委員：避難訓練はどのような方法で実施していますか。

藤原管理者：火災を想定した訓練を年2回実施しています。スプリンクラーを設置しているので、入居者の皆さんを安全に避難をしていただくことを優先しています。2階から非常用の階段を活用する方法もありますが、歩行困難者が多いので、消防署からは窓側で待機するよう指導を受けています。

遠藤委員：火災は、いつどこで発生するか分かりません。職員配置が少ない夜間に発生するかもしれません。日ごろから地域との交流を深め、万が一の際には応援していただける関係づくりをしておいてください。

中本委員：新さかい幸朋苑では、津波を想定した訓練を実施していますが、ここはどうですか。

藤原管理者：境港市の津波ハザードマップによると、美保湾からの距離があるので、少し安心しています。避難先が境公民館と境小学校となっていますが、エレベーターやスロープが設置されていないので車椅子利用者は上層階に上がるの容易ではありません。

荒井監事：2階には、猫が飼われていますが、入居者との関係はどうですか。

藤原管理者：「銀二郎」という名の猫を飼っています。推定年齢17歳になりますが、入居者の皆さんのが癒し効果があると思います。定期的に動物病院で診てもらっています。

中本委員：今年の夏は、猛暑が続きましたので、除草作業も大変だったと思います。他の施設では防草シートを貼っていましたが、状況に応じて工夫をしてください。

藤原管理者：雑草は猛暑でも成長しますので、夏季シーズンは大変です。今年は特に熱く熱中症になりそうでしたので、なかなか除草作業を行うことが出来ず、最近になり、やっと作業をしました。他の施設を見学し、方法を検討します。



左：民家 右：G Hひので

遠藤委員：朝食と昼食は、職員が調理しているとのことですが、入居者の皆さんの評判はどうですか。

藤原管理者：ご飯を炊く臭い、みそ汁の臭いがリビングに広がり、食欲をそぞるようです。自宅にいた頃を思い出しますので、精神的にも落ち着くようです。

遠藤委員：献立内容は、職員に一任しているのでしょうか。

藤原管理者：管理栄養士に相談して調理をしています。また、こうほうえんには、リハビリ部門の職員が多数いますので、いろいろな場面で相談し、来訪しての支援も受けています。

荒井監事：入居希望の待機者は、どの程度ありますか。

藤原管理者：現在28名が待機されています。中には将来を見込んで申し込まれている人もおられますので、入居の声掛けをしても、「まだいいです。」と返答をされる場合があります。

遠藤委員：入居者の皆さんのが穏やかな表情で過ごされており、安心しました。見学して感じたことがあります。道路から玄関までが距離がないために開放感がなく、訪問しにくい印象があります。施設の東側に非常用階段がありますが、階段下に使用していない不燃物が放置された状態になっています。処分されることをお願いします。

川口委員：開設してから21年が経過していますが、リビングのテーブルなどが劣化していますので、状態をみて更新されることをお願いします。入居者の皆さんのが元気そうで良かった思います。

中本委員：災害用の備蓄品の保管庫を見せてもらいました。品目と保存年月日を記した一覧表を貼っておくと、誰もが見ても分かると思います。また、消費期限があると思いますが、更新時にはどうされていますか。

藤原管理者：ご指摘有難うございます。一覧表を作成し、貼付します。食料品などの備蓄品については、期限前に活用するようにしています。

遠藤委員：食料品は、子ども食堂などで活用することが考えられます。どこでも備蓄品を保管しているなら、有効活用の方法を検討されるようお願いします。

■まとめ

荒井監事：委員の皆さんから多くの提言をいただきました。グループホームひでの課題としては、地域との交流拡大、備蓄品の活用、除草作業の検討などが上げされました。それぞれを検討し、具体的な対応をお願いします。

藤原管理者：貴重なご提言をいただき、有難うございます。「グループホームひでの」が地域に必要な施設であることを再認識していただけるよう運営内容を考えていきたいと思います。

荒井監事：次回は、11月20日（木）10:00～ デイハウスせいどう、生活支援ハウス です。

